週刊 時事経済

発行所
平市新川町1
電 6415
発行人 田原 登
毎月 15日 発行
印刷所 加納活版所

勉強で評判の店
丸萬家具店
店舗 平市四丁目 電六六三三
工場 平市白銀町 電六六三四

着工は大分遅れそう
平駅前拡張の前途に暗影

平駅前拡張事業は四億五千万円を投じて今秋か新年早々から着工すべく地主との土地交換借家人の移転その他の工作に市当局は躍気となっているが、土地交換がスムーズに行かず一部大地主の抵抗も強くまた借家人の移転も一軒もきまっていない有様で、この分では着工はいつになるか判らず、平駅前拡張事業の前途に暗い影を投げかけている。

公認鑑定士の鑑定書を添付
正義の前に権力には屈しない
武田氏ら不服申立て

この土地交換問題というのは地主百五十人のうち白銀町の鉄道公舎のあった跡との交換であるが、既に承諾したひともあるが、その交換比率が地主側に満足出来る率でなく、このまま市の要望を容れれば一億円の損害だと云っている大地主もある。駅前旅館甲陽館（経営者武田都広氏）ではこのほど不服申立書を市に提出、妥当な交換比率なら協力すると云う態度をとっている。

甲陽館は拡張圏外であるが三十米通りの車庫に一軒入れて欲しいから二十四坪を開放して欲しいというので、それでは協力しようと云うことになり、最初市は白銀町の四十坪と交換することに話し合いが決ったが、その後市は三十坪にして欲しいと云ってきた。甲陽館ではそれでは協力出来ない。駅前を一等地とすれば白銀町は三等地ぐらいと見るのが常識なので、早速大蔵、建設両省に出向き指導を受け東京都銀座八丁目の公認不動産鑑定士菊地正人氏の鑑定を受けたところ武田氏の車庫のところは坪に換算して四十八万八千四百円、白銀町は八万五千八百円、その比率は一対五・五強と云う鑑定なので、武田氏ではこの比率なら協力してもよいが、でなければ協力しない。市の案は駅前住民の犠牲において行うものとしか思われない。駅前拡張による利益は全市民が受けるのだから全市民の犠牲においてやって欲しいと主張して正義の前に権力には屈しないといっていた。また駅前の大地主猪狩仁三氏も同じく同公認鑑定士の鑑定結果、一対八・四の比率なので、それでなければ応じられないと不服申立を行っている。なおこのほか大塚駒太郎猪狩四郎、伊藤実氏らも不服申立てを行うといっている。

160の借家人不安動揺

また問題なのは借家人がどうなるのか、市当局は駅前拡張による借家人を何軒あるかさえ調査していない。駅前の人たちの話によると百六十軒ぐらいあってそのうちの大部分が商売で食っているひとたちだが、このひとをどうして呉れるのか、市側からも地主からも何らの交渉がなく、毎日不安の日を送っているのが実情市は強権を発動して近く家屋の取りこわしを断行するのだから追い立てられるのだ等の馬鹿馬鹿しい流言さえ飛んでいる有様である。

市当局としては斯うした不平不満をきくべくこのほど市民相談室内に駅前拡張相談室を設けて不満をきえているが、相談にやってくる人もポツポツあり、殆んどが住宅問題である。これに対し市は市営住宅を優先的に貸してやることに話しているが、住民たちはなかには五十五年間も借家しているものもあり、二十年、三十年はザラで営業権、住居権の主張をして生活を守ろうと借家人同盟を作って斗うなどの動きもある。

駅前でヤキトリ屋をやっている斉藤伊知郎さんの話＝親父時代から借家して五十五年にもなる。それが駅前拡張で追い立てられそうな運命に立っているが、一体どうしてくれるのか更張り判らない。

バーを経営している小名川正俊さんの話＝此処に借家して二十八年になる。駅前だから商売になり生活できる。今のところ家主からも市からも何の折衝もなく不安でたまらない。駅前拡張にわれわれは賛成だが、われわれのことも考慮して欲しい。

食堂を経営し地主で自家である伊藤実さんの話＝自分の土地は十五坪、これを十坪ぐらいに減らされそうだが、十坪では狭くて商売ができない困っている。

借家同盟結成へ

平駅前借家人やく百六十軒は借家人同盟を組織すべく協議中。

街角見聞

平駅前を拡張すると駅前の住民も商売がますます繁昌して利益を得られるが、またそのほかの町内にも好影響があり、市民全部がいい気持になれる利益がある▼だから駅前のひとが大いに犠牲を払ってもよいではないかという肚で市当局はいるようだ。だが例えば現在坪五、六十万円もするものが二、三十万円と安く標価されたら賛成できない気持も判る▼その辺が話し合いで解決しなければならぬがそれが政治である。百六十軒もあると云われる借家人たちはあすどうなるか判らないと不安な気持で毎日を送っているがこれでは政治不在というものだ▼駅前の人たちがみんな喜こんで拡張事業に協力するような妙案は考い出せないものか。伝家の宝刀を抜いて法律に従がわぬと為ならぬゾでは封建時代えの逆戻りだいましこし知慧を働かして絶対不動のいい案をあみ出して円満解決、一日も早く拡張を実行して欲しい。

社説

借家人を考慮せよ
壮撰な平駅前擴張案

平駅前を拡張することは大歓迎である。県内四大市のうち福島、郡山、若松の三市は既に立派な駅前に拡張して面目を一新しているのに、平だけがこんな見すぼらしい姿でいることは市の恥である。しかも新産都市づくりが進行しようとしている矢先新いわき市の玄関口がこの態たらくではお話しにならない。

そこで市当局は断固としてこの拡張案に乗り出し四億五千万という大枚を投げ出すことにしたワケだが、駅の住民たちも協力はしなければならぬといっている。反対ではないのだが、その拡張案なるものが最善のものとはどうしても思われない。もっともその案は極秘に付されているからわれわれがどうのこうのと批判するワケには参らないが、現在出てきた事象をながめると相当無理があると思われる。

第一に四億五千万の予算のワク内でやらなければならぬから市のためにご協力願い度いと地主に交渉しているようだ。地主は百五十人でこの拡張のため地価が暴騰して利益を得る地主もあり、そうした人々は早くも承諾して涼しい顔をしているが駅前田町の一等地にいる人々はぐっと圧縮され、その分を白銀町の鉄道公舎跡と交換する案だが、その比率が地主側で不満なのである。駅前住民の犠牲において拡張する積りでいると地主側は云っているが果してそうだとすれば無理があるように思う。

市当局は駅前拡張については審議会と銀行員などによる価格審査会によって決めたもので即ち正式機関によって決定したものであるから決して無理なものでなく適法であり妥当なものだからご協力を願いたいという態度をとっているが、この価格審査会は市の案を殆んど鵜呑みにしたものだと云うひともあり、日本中に十人ぐらいしかいないと云われる公認鑑定士の科学的な鑑定結果が妥当のように思うがどんなものか。

借家人に対する措置はあまりにも軽視していないか、第一市は何人の借家人が居るのかさえ調査していない。そして駅前拡張によるいろいろな問題の相談室を設けたので相談に来る人々は殆んど借家人ばかりだそうだが、地元の人たちがいう百六十人の借家人を優先的に市営住宅に容れてやることにしていても、その住宅は一軒の空家もない始末それに、バーや飲食店、看板屋、雑貨、薬店などいろいろな商売をやって生活をしている人々がどうなりますか。

万一運がよくて市営住宅に入ったとしても商売が出来なくなったらどうして生活をして行くのか。このことが借家人たちにとっては重大な問題で日に増し不安が増大している

法治国家に在る斯うした気の毒な住民たちに対し弊履を捨て去るがごとき手段では納得することはできない。地主家主は従来借家人から借家料や地代をとって安穏な生活をしてきたので、道義的にも商売のできる借家を建てゝ借家人の生活をできる様にすべきだし、市当局もまた全部その商売に安んじて就業できる様に万全の策を施すべきだ。それが万一にも出来ないときは借家の商売者には営業権、住宅権もあるのだからその補償を充分にしてやることが必要だろう。そうした点が今のところ更張り考慮されていないということは平駅前拡張案なるものがいかに杜撰なものであるということが出来ると思う。

ゆたかな暮しの贈りものに
大黒屋の優秀品!!
ダイコクヤが自信をもって、おすすめする
贈りもの好適品を、各階にあつめて
ご贈答好適品をコーナーを特設いたしました！
全店中元大売り出し中
☆☆☆<冷房完備>涼しいお買い物☆☆
皆様の利益を護る店
大黒屋
平市3丁目 デンワ(代)2191
受けて重宝・贈って便利
大黒屋の商品券
200円よりご調製・1階店内案内所にて発売

年間20億の大産業に

いわきカマボコを駅売り

平市豊間、磐城市江名を中心に生産されるいわきカマボコは年間二十億円の生産高を得るようになり平市の大産業とまでなってきたが、さらにこれを売り出そうと一日から〃ときわ二号〃〃同三号〃水戸―仙台間の〃いわき一号〃の急行三列車内と、平、湯本両駅売店で売り出された。

これは平市薄磯の山野辺茂重さんが一千万円を投じて設置した真空カマボコ機械による生産が始まり、一カ月も保存できる製品がつくられるようになり、この列車内販売となったもので、車内では売り子三人が「いわきカマボコいかがですか」と、一本六十円で売って好評を集めている。

平名物七夕祭り

八月六日から盛大に

浜通りの夏の名物である平市のたなばた祭りは八月六、七、八の三日間全市をあげて行なわれるが、平夏まつり会はさらに行事気分を盛り上げようと副賞に知事賞、市長賞市議長賞、商工会頭賞、商連会長賞、観光協会長賞、教育長賞、常磐毎日新聞社賞、いわき民報社賞の九賞を決めた。

この副賞はまつり前から大黒屋デパートのショーウインドーに飾って各商店会の製作意欲を高める。受賞者は自店のウインドに飾ることになっている。

野崎満蔵翁の胸像建立

常磐交通自動車株式会社前会長故野崎満蔵翁の胸像は七月末ごろ平市小太郎町児童公園内（常磐交通本社前）に建立される見通しがたった。

同顕彰会ではこのため三百万円の予算を拠金しているが胸像は彫刻家赤堀信平氏に依頼してでき上がるばかり。胸像のほか満蔵翁の伝記千冊を小中高校や公民館図書館に贈る。

県水産会館立派に完工

平市谷川瀬字仲山町に工費五千二百万円を投じ、ことし一月から着工していた福島県水産会館は立派に完成し、県漁連、県信漁連、県漁業信用基金協会、県漁船保険組合、県漁業共済組合、県水産事務所の六事務所が七月四日新館に移り、業務を開始した。

同会館は鉄筋コンクリート三階建て、延べ面積一千二百五十四平方メートルを有するりっぱなもので、百五十人を収容できる大会議室、四十人と三十人収容の小会議室もある。七月二十三日に落成式を行なう予定。

野木社長が尊徳翁講演

平市六人町野木稔弥氏（力行会、報徳物産、報徳ホテル各社長）は来る二十二日正午から開く小名浜ロータリークラブの例会で研究してきた二宮尊徳翁の講演を行う。場所は小名浜信用金庫本店三階

物語・いわき百年史【3】

荒川禎三

輪玉寺宮の台湾討伐

すぐ鶴翁が見えた。宮はご機嫌うるわしく「鶴翁、久しぶりであった。達者かな、ご厄介になるぞ」

それに応えて鶴翁は

「城主対馬守信男は留守ですが、鶴翁のできることは何なりと仰せつけ下され」

「ありがとう。上野の戦争で思わぬ朝諚を蒙ったので一時仙台へ難をさけるためやってきた。覚王院義観の消息はわからないが、鈴木安芸守以下三十人ばかりが一緒だ。流石に奥州は平和だ。羨しいなァ」

「このような田舎にお越しになられたことは何と申し上げてよいやら……鶴翁恐懼に堪えません。鶴翁とても襄の責を負うて謹慎中ですが、宮の御出でと承って馳せつけた次第です」

二十二才の宮と四十九才の鶴翁とでは親子の情であった宮は遠慮なくズケズケ話された。鶴翁は初老の眼に涙を浮かべて

「前将軍慶喜は水戸に謹慎して謝罪の日常を送っておられますが、徳川の宗家を継がれた駿府の亀之助殿は以前の徳川家所領の一割にも充たない七十万石です。これは明らかに薩長二藩のしたことです。朝廷のお考えではありません。彼等は会津を朝敵の元凶としております。奥羽諸藩にも会津攻略をすすめております。松平信は藩地の財政を傾けて朝廷につくして来ましたそれなのに会津を討てとは何たることでしょう。朝意ではなく薩長二藩の私怨です。奥羽列藩は同盟して会津侯のため歎願書をさし出しました。また仙台の伊達慶邦、米沢の上杉斉憲の二人は官軍参謀の世良修蔵、大山格之助に歎願に出ましたが、世良は官軍を笠にきて態度まことに横平、言語道断であったそうです。世良修蔵が大山格之助に宛てた手紙が仙台兵の手中に入りましたが、文中に〃仙賊、米賊、朝廷を軽んずるの心底〃という文句が書かれてあったそうです」

翌くる二十九日、平藩から献上の御装束、刀剣、金子などをご嘉納された。また飯野磯之進から別に金子を献上した。その謝礼として後に金盃を下賜されたかくて辰の刻、（午前八時）飯野方を出発されて、その夜は中寺駅にお泊りになった明治になってから寂れたが、ここは中通りへの宿駅として賑やかであった。斯く越中守の所領であった。笠間藩牧野して三春から会津藩を経て、東北御巡行の旅をつづけられた。戊辰の悲話だ

宮はのちに近衛師団長陸軍中将北白川宮能久親王殿下とお成りになった。時は明治二十七年であった。近衛師団にも動員令が下った。殿下は旗下将兵と共に勇躍宇品の港を船出した。海上つゝがなく旅順港に入港した。兄宮の大清総督小松宮殿下に師団到着を報告するや、台湾討伐の別令が下った。講談の大島伯鶴が旅順にいたが、このときになって心成辰戦争に際し奥羽白石の奥羽越列藩同盟の総裁となって錦旗に抵抗した罪科がきびしく、ご兄弟の間を塞ぎご対面のこともなく直ちに台湾島討伐の軍船で出航されたそのころ日本には台湾島への海図がなかった。また軍隊には不可能の文字もなかった。殿下は川村景明少将と相談されて進路を上海に向けて大陸添いに南下された。そして海上から沖縄列島に直航した。この海域は台風の通路であった。ときはその台風シーズンでもあった。案の定殿下の運送船も容赦なくその台風に遭遇してモミクチャにされた。辛ろうじて那覇港に入港したときは船酔いしない兵隊は一人もなかった。文字通り命からがらであった。兵の船室はランプの石油の悪気、狭い船室に多数の兵士が詰めこまれ吐き出す息の臭気、船酔いのこまもの等惨状目もあてられなかった。それでも兵士たちはから元気をつけて上甲板でズブ濡れの軍服を乾かした。

ここで雇入れた漁師を水先案内に八重山列島を島伝いに台湾島へ進路を向けた。兵士たちは船旅にも漸やくなれて幾分元気をとり戻した。

「この船は何処へ行くのか上海からもっと南だから天竺かな」

「山田長政のシャムだろうそれにしても暑くなったな冬服じゃ非道いぞ」

「夏服の来るまで待てよ。冬服なら銃丸にも平気だろう」

「被服係りには夏の装備はまだ通知すらないぞ」

などと互にくだらぬ会談を交して航海を続けた。やっと到着したのが東台湾の澳底海岸であった。正しくは台湾北州宜蘭郡澳底庄澳底であった。守備兵の影もなく無血上陸できた。殿下もボートで砂浜に上陸した。すぐ斥候に通訳をつけて附近の民家を探ぐらせた。何をきいてもヤキンボヤキンの一点張りで、全く要領を得なかった。彼らは台湾語だ。台湾語も広東系と福建系に分れていた。広東系は汕頭を中心に、潮州、雷州半島から移住して来た。福建系系はあ門島を中心に、漳州、福州方面から来た。例の歌舞妓劇国姓爺合戦の鄭成功はこの福建系だ。鄭成功は実在した人物で、日本人を母に持った明末の忠臣であった。明朝の恢復のために台湾島に根拠を置いて、日本の援助を仰ぎ清朝に抵抗を続けた勇士だ。台南には成功を祀る廟も建立してあった。

旅順からつれて来た北京漢話の通訳は何の役にも立たなかった。島民がボヤキンというように日本軍にも全くボヤキンであった。海岸に天幕を張って野営した。漁師の家からは裸で裸足の小輩がゾロゾロ出てきた。食糧班は手まねでサツマイモを買付け土民に運ばせてきた。食糧を水漬けにしてしまった日本兵の知慧がそうさせたのであった。

（つづく）

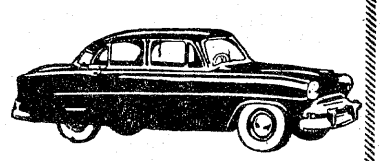
家具のデパート
丸ほん
平市三丁目　電5131（代表）～3

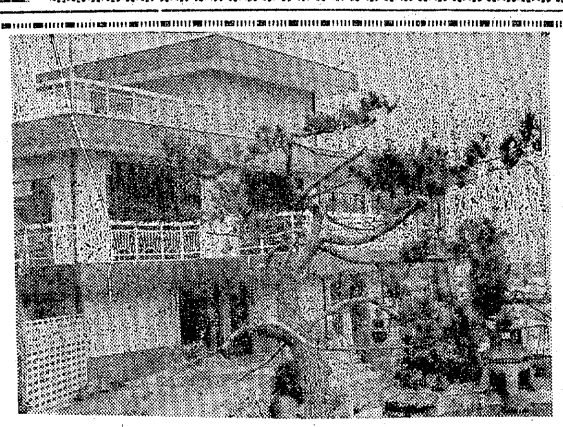
技術と信用の店
家具のセンター
ナガキ
平市三丁目　TEL4535

内科・小児科
後藤医院
平市古鍛治町　電三〇三六

旅は安心して
泊まれる宿
旅館賠償責任保険加入
日本交通公社協定旅館
日本観光旅館連盟会員
旅館
甲陽館
平市駅前電（代）3181

安全、便利、無線車完備
平営業所　二一七五・二六四〇
好間営業所は　五三七二
草野営業所は　五六四七
平市二丁目
尼子タクシー





結婚式に
御会合に
御宿泊に
明るく　広く　爽やかに　そして静かな
日観連旅館
日本交通公社協定旅館
ホテル報徳
TEL（平）5522代
東京案内所　台東区上野花園町13電（828）3607

平競輪
発売　11時30分
前節　8月　14・15・16
後節　20・21・22
9月　17 18 19　23 24 25

愚庵のいおり復元

松ケ岡で着工、九月完成

天田愚庵顕彰会（大和田弥一会長）は、はるばる京都から解体運搬してきた。愚庵いおりの復元工事に着手した場所は松ケ岡公園旧市営コート跡の西北で、建て物の復元と整地に四百二十万円をかけるこの八日からブルドーザーが入り、運ばれた土砂を一メートル高く盛り土して整地に着手、完成するのは八月末の予定で一般公開は九月から。

平藩士の子として生まれた天田五郎は、戊辰の役で家族と生き別れて三十年余、探し求めて全国を歩いたが、この間、山岡鉄舟の指導を受け、清水次郎長の養子となるなど苦労を重ね、父母と再会できぬまま禅門に入って和額、漢詩の道に精進、正岡子規などを指導した明治文壇の大家。京都桃山に晩年を過ごしたがそのいおりが所有者である専修大学木村喜一郎教授から市に寄贈になったもの。

建て物は八十平方メートルの平屋木造（六畳、四畳半、三畳のイロリ、板の間と廊下）だが桃山の庭園もそのまま復元するほか、コート横の池を拡げて出島を築いて東屋を設け、いおりの付近はいけ垣や花壇とするなど一大庭園に改装する。いおりには愚庵が朝な夕な礼拝した観音像のほか、愚庵ゆかりの書籍、遺品などを展示して有料公開するほか、お茶の会などに利用、郷土の偉徳をしのぶとともに若い世代の情操教育に役立たせることになる。

とくに復元には慎重を極め、常磐線横だけに飛び火の心配もあったが、ビニール塗装でカヤぶきにし、使える材料は可能な限り使用して忠実な原形復元につとめることになっている。

好間に東洋時計

来年七月から操業

平市や常磐市などには中小企業などの進出が見られるが、こんどは好間村中好間字小谷作地内の好間中東側の高台に日本飛行機の傍系会社東洋時計（磯崎正見会長）の進出が本決まりとなった。資本金二億五千万円を投入して、さっそく土地造成に取りかかり、来年七月から操業を開始、月産五万個の置き時計の生産に入る。

好間村はかっては炭鉱のマチとして栄え、人口も二万有余を持つほどだったが三十二三年ごろから斜陽化した炭鉱は、大手筋の古河好間炭鉱をはじめ小田炭鉱などが次々と閉山、マチはさびれるばかりだった。こうした状態のなかにあって、都市から近く、空気の澄んだ環境の良いところを…と物色中だった東洋時計が、好間村に白羽の矢を立てた。鈴木村長は地域発展のために…と大乗り気になって東奔西走、好間中東側高台の所有者二十三人と交渉を重ね、ようやく地主との契約に成功した。

東洋時計は高台の五万七千平方メートルの畑、山林、原野を買収、四十三年三月までに二億五千万円を投じ、延べ九千二百四十平方メートルの工場（全部で四むね）を建設するという。とりあえずことしは三十人程度の従業員を採用し、埼玉県上尾工場で技術を習得させ、来春は学卒約百五十人を採用、その指導者にする方針。将来は従業員を一千人にするという大企業で、母子家庭などにも内職として発注する計画もあり、地元民の期待は大きい。

平市民会館で初の県吹奏楽コンクール

9月18日 60校二千人が競演か

浜通りで初めて開催する第四回県吹奏楽コンクールは九月十八日平市民会館で行なうことにきまった。このコンクールは中学、高校、一般が参加、これをA（中学校で三十一人から四十人編成）B（三十人までの編成）C（県大会だけ参加）の三クラスに分かれて東北大会、全国大会出場をかけて目ごろの腕を競う。

参加数はまだ最終的に確定していないが、大会事務局では六十団体二千人が参加するのではないかと見込み受け入れ体制に大わらわ。地元でも初めての大事な行事だけに市民会館大ホールを埋める盛況が予想されている。

危険な花火遊び

平消防署注意喚起

花火は夏の風物詩としてこどもたちに親しまれ平消防署では花火遊びをするさい次の点に注意するよう呼びかけている。

◇花火の危険性について＝おもちゃ花火は薬量が少なくても火薬、爆薬などが使われているので一個ずつ使うようにする。

◇花火自体に危険性のあるもの(1)音物花火（平玉、2B弾）＝わずかな摩擦、衝撃で爆発する製品を使用しているのでポケットに入れて遊んだり、分解加工することは爆発の危険がある。(2)飛行する方向に安定性のないものがあり遠くまで飛ぶので人家などの密集している地域では危険でもあり、火災の原因にもなる

◇取り扱い上注意を要するもの(1)打ち上げることを主とする花火はまっすぐ上方に向けて大地に固定し、手に持った場合でも人家のない方向へ打ち上げる。固定が不完全だと倒れながら発射する場合があり事故の原因となる(2)筒物花火（とくに連発もの）は火が消えたようでも残っている場合があるから絶対に、筒先をのぞき込まないこと(3)噴火山、マジックヒリュウなど火の紛を多量に吹き出すものは火の紛が可燃物（燃え易いもの）に着火する場合があるので家、ごみ、枯れ草のあるところでは使わない(4)花火を買う場合は販売店からよく取り扱い方法を聞いておくことが大切。音物か打ち上げかわからないものもあり、コメットやスターライトのようにどちらに点火してよいかわかりにくいものもあるので、確かめておかないと思わぬ事故を起こす場合がある(5)爆竹のように点火とほとんど同時に爆発するものは注意しないと事故を起こし易い(6)サキワンのようにみちび（導火）の出ているものは、他の花火に着火され易いので注意する(7)一度に多量の花火を消費しない(8)筒物花火は、打ち上げ終わっても筒の中は火種が残っている場合が多く放置しておくのは好ましくなく、必ず水をかけておくこと(9)こどもたちだけで花火遊びはさけ、おとなが立ち合うようにする。

欧洲の教育視察旅行へ

荒川教諭が

平二小教諭荒川功氏（三五）は欧州の教育状況視察のため来る二十五日羽田から欧洲一周の旅に出る。視察地はローマ、スイス、東西ドイツ、オランダ、ベルギー等で三週間の予定である。

平局に便利な料金計量

○…切手の代わりになる料金明示の証紙が発行できる料金計器が、平郵便局に配置された。これは福島局に配置された。のに次いで今度平、郡山会津若松、白河の四局に備えられたもので、非定形の郵便物や小包、書留など、料金の高いものはこの証紙を発行してはりつけるという。

○…この料金計器はアメリカ製で四十六万円もするしろもの。国内、国外郵便物で、特別に〃切手〃をはるような申し出がなかった場合は局員がボタンひとつで操作し、出て来た証紙をはりつける。この証紙は裏面にノリがついており、濡れた状態で出て来るのでそのまま直ぐはりつけられる仕組みの能率的なもの。

○…この料金計器は一円刻みの証紙が発行でき、証紙には富士山とさくらをあしらった意匠のほか。発行年月日、金額などが明示されているが、長さが普通切手の二倍半もあるため、ハガキや一般の封書には利用しないことにしている。近く使用を始める予定。

水泳プール連日大賑い

平市北白土に偉容を誇るいわきスポーツセンターの水泳プールは六月二十五日盛大にオープンして以来翌三十六日は日曜日とあって入場者がドッと押し掛け一千九百もあり幸先よいスタートを切った。七月に入って三日十日の各日曜日は千人内外の入場者その他の普通日は数百人程度だがプールをもたない昌平こう大学、平五小中山青年会、その他小供会などから利用者が続々として申し込まれ既に利用している。この分では入梅あけの炎暑の訪れには連日満員の利用者が出る模様でスポーツセンター当局は無事故とサービスの向上に一段と気を配ることにしている。

お茶のおいしい夏訪ずる！
◎甘みの部（宇治茶）　香りの部（煎茶）
品評会入選　100g付　七〇〇円　100g付　新茶
宇治の香一号　〃　五〇〇円　宇治の司四〇〇円
同　二号　〃　三〇〇円　同三〇〇円
新発売！
寿印（ほうじ茶）
大門印（ほうじ茶）
大勝園茶舗
平市三丁目
電二三九六

東北が生んだ本格的スーパー
フジゴン
平　店　でんわ（平）　7171
小名浜店　でんわ（磐城）②4191
植田店　でんわ（勿来）②2171

安い月謝で楽しく勉強！御入学受け付け中
珠算　柔道　剣道　書道　音楽
和裁　洋裁　華道　編物　舞踊
平市白銀町　電二六五〇　石島公民館

株式会社
常磐ヤンマー製作所
社長　新妻良平
平市一丁目
電四三二六・四三二七

平名物手つくりの味
いわきあられ
味覚堂
平市古鍛冶町七
真田昌秋
電(平)三九二二

おいしい
パンとケーキ
市川パン店
平市中央通り　電二九三六
三十米通り支店　電五九一三
工場　旧城跡　電五九〇六

平の代表的土産品
平の生んだ世界的作曲家八橋検校の
作曲せる名曲「六段の曲」を記念する
銘菓　六段最中
六段本舗　平凡　平駅前
電　2,506

アユ漁はこれから
夏小ブナつれ始む

アユ解禁日は台風四号の豪雨で増水と寒気のため不漁をかこったが、その後天候の恢復とともに木戸川、サメ川など好漁に恵まれている。しかしこの両川とも魚影は濃厚でない、それは琵琶湖産の稚アユが少なく本県移入ができなかったため、県は右の両川へ稚アユ採捕を命じ、県内各河川へ出荷したためであった。しかしこの採捕場も解禁直前の台風のため流失したので海からの稚アユは七月に入ってそ上を開始しているから晩秋まはアユ漁は楽しめるものと見られている。サメ川の高柴ダム下流には多数のアユが突込んだものと見られていたが案外魚影は薄いといはれるがダム上流の根岸付近は十数万放流したアユが大きく肥育しているといわれる。このあたりは石も大きく足場も木戸川に比して悪いのでプロ級者でないと無理だが、これから期待されそうだ。

木戸川は河川改修で大分荒されたが、ここ数年殆んど駄目だった旧国道橋下流もようやく釣れるようになり、殆んど全川がつり場となってきたこの川は禁止されているポンコづり（ハリを多数つけてひっかける）が大半を占めるようになった。これはつり本来の醍醐味を得るのと違って多獲主義である。友づり用の親アユをとるだけなら仕方がないが、終日このポンコづりをすることは断固として禁止すべきであり、またつり師たちも自粛すべき問題である。木戸川漁協組が大いに考慮すべきであろう。

近年平市新舞子浜で盛んになったリール竿によるイシモチづりがぼつぼつ始っている盛夏の宵に暑熱をさけて数百人のつり師が海岸にならび赤く燃えるカンテラの光に照り映いて盛観を呈するのだが、つり場の数十メートル先において網を張って漁獲する付近の漁師がいてそのために昨年は更張りつれずつり師たちをなげかせたことがあった。網を張るのは沿岸から何百メートル先でなければならぬという制限があると云われるが、若しこうした規程があるとすればその漁師は明かに違法行為をしているワケだ。レジャー時代評されぬ問題である。

産卵を終えたフナは休養期もすぎて餌づき始めた。夏ブナは大型はあまり出ず、小ブナが大部分だが、横川、夏井川本流、サメ川、滑津川などどこでも釣れるようになった滑津川の新しい橋上下などこの春フナつりで賑ったところだが、四月下旬から殆んどつれなくなっていた。ところがまた最近つれ出している。滑津川と藤沼間の小堀が全通したので藤間沼の小ブナが入ったものか、上流のものが下ったものか判らない。スバ、ボラも海から沢山入ったことがあり、しかし食いが悪く最近また出て仕舞ったという。サメ川の火力発電所の放湯場付近から河口までの間、手の平ぐらいのクロダイが依然として揚っている。降雨後の濁ったときがよく五十尾ぐらい揚げる人もあり、殆んど毎日のごとくつり師で賑っている。しかし高い堤防が邪魔で、これを乗り越えて岡づりをするのだが、こうした難点がある場所で一般向きではない。餌はモエビ、エビガニの子、ゴカイ等である。

アトム電工会社を設立
正木夫人

大久村の正木昌次野氏が自動車事故で入院加療中のため夫人ハルエさんはアトム電工株式会社を設立平市堂の前四の五にこのほど店舗を新設した。電灯電話動力、内外配線工事から設計、監督、請負まで電気一切の仕事をするワケで従業員も親せき関係者ばかで開店早々から繁昌している

川柳
龍城から
渡辺一角作

物わかれどの灰皿もに
　　じられる
農薬に虫は駆除され
　　ツバメメ来ず
うらざしき世相を呪う軍歌族
胎動も何人目かの無表情
空気にも匂いがちがう観光地
出勤におなじ匂いの共稼ぎ
絹布団ただ埒もない夢に明け
大臣の中にもあったケロリ族
台風に工事の不正あばかれる
埒あかぬ話炭火をつみかさね
落ついてうまく飲ませる雨音
不機嫌をはつきりさせて戸の
走り
亡き母を百花にかこむ
　　野辺送り
ふるい義理母久々の羽織を着
ふるさとの母磐光灯
　　にして迎う
年の功抜けそなどこへ
　　抜ける道
スキーとは登って滑って
　　転ぶこと
座談会ただ共鳴をしておわり
おかえりを箒ではろう大吹雪
合槌を打って反対側にたち
夫からはなし奪って賢婦ぶり
代書屋の書いたは読み
　　せず通り
お偉いのばかりで遊ぶ
　　ゴルフ場
落書を怒ってみたがナール程
初対面とりつきにくい
　　眼の坐り
保証人みたい仲人あとにでき
除幕式清楚な中にたつ遺族
作文の父はよくよく酒をのみ

ガンコな水虫に!!
〈新発売〉ビネゾール軟膏-S
★みずむし ★たむし ★いんきん ★湿しん ★白癬
2、3日でイタミ、カユミがとまり、よい状態になれば、あなたはこの薬で治ります。
製造発売元
平市 ホートク物産株式会社

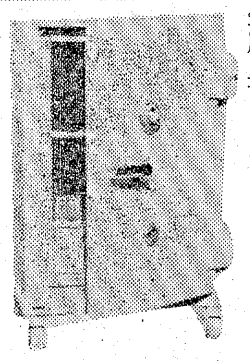
集団用駆虫剤
◇常磐マクサント錠◇
福島県小中学校長会
福島県学校保健協会
第島県学校薬剤師会
推薦
特製品　ネオマクサント錠
防疫薬品—農薬製造元
家畜薬発売
常磐化成株式会社
平市大町28　電3760・6560

不動産売買仲介評価貸家斡旋
公認 平宅地建物取引所
平市才槌小路踏切際色川材木店内 電二三六一番

東洋酒販株式会社
社長 杉田松太郎
平市禰宜町電 3188

伝導要品
ベルト プリー
平公会堂前
加藤商事
電二五八七

財団法人 松村病院
診療科目
外科 部長 長谷川国男
脳神経外科 部長 松村亨
整形外科 部長 長谷川国男
内科 部長 金生富雄
胃腸科 院長 長瀬克慶
循環器科 部長 金子甚蔵
産婦人科 部長 白木沢長史
精神神経科 部長 渡部竜一
放射線科 部長 金生富雄
本院 平市南町二三 電話(代)二二六一
舞子浜病院 平市藤間字松原 電話(高久局)六二
城南分院 平市小太郎町一八



金庫 書庫 レジスター 計算機 事務機
萩金庫商会
平市三十米通り
TEL 2631・3352

味じまん
甘太郎の鯛焼
真根井菓子店
平市銀座通り 電四二五〇

時代と共に…
既製服なら
盛高屋
平市3丁目・TEL3608

内科 小児科
三井医院
平市田町 電二六一五

よい時計・よいメガネ・輝くユビワ
ネモト
平市・二丁目TEL.2607

季節の料理
かなべ
ばまべ料理
やめ
きし
寿司の江戸川
平市紅小路店 電二七二七
才槌小路店 電三〇二一
平市柳町店 電四八四六

ぜひお試し下さい
トイレにサットひとまき
悪臭一掃
ウジも殺す
モクサンがギンナンDになりました
新発売
ギンナンD 400mℓ ¥200
平市大舘1電7434 モクサン本舗報徳物産